



左から川口さん、結城さん、田中さん、渡邊さん

女性活躍推進法が施行されるなど、女性を含めた働き方が見直されています。

今回は、女性の活躍やワーク・ライフ・バランスなどに取り組む、医療法人昨雲会飯塚病院の看護師 渡邊明日香さん、田中ひとみさん、結城めぐみさんと人事課の川口裕一郎さんに話を聴きました。

医療法人昨雲会 飯塚病院(医療)

従業員数 369人(男性96人 女性273人) 女性管理者数19人

昭和42年に創立し、精神科を中心に5つの診療科目に対応している。患者様の権利を尊重し、心病む方々の社会参加を促進させる機能の充実と認知症高齢者の方々などへの支援を高める働きを推進している。

仕事の内容を聞かせてください。

田中さん 病棟勤務で、勤務形態は日曜祝日を除いた日勤です。

結城さん 同じく病棟勤務で、勤務形態は3交代制勤務です。

渡邊さん 主に外来の対応ですが、病棟でも勤務しています。

看護師を目指した理由は

結城さん 看護師は、やさしくてかつこいいイメージがあつて、小さい頃から看護師になりたいと考えていました。

飯塚病院に入ってきたきっかけは

渡邊さん 交代制勤務が採用条件という病院が多い中、日中の勤務だけでも採用してくれたからです。会津で病院の看護師として働こうと考えたとき、日中の勤務だけで採用してくれる病院は、その時は飯塚病院だけでした。

女性が活躍する上で、飯塚病院ではどのような取り組みをしていますか。

川口さん 昨雲会では、看護

師などの資格取得のための奨学金制度を設け、看護師・准看護師を目指す職員を応援しています。また、資格取得に関する勉強会や各種研修会を勤務時間内に実施するなどの支援も行っています。看護学生のアルバイトも積極的に採用していて、看護学生の間では非常に好評のようです。

田中さん 私は准看護学校を卒業して飯塚病院で働き始めましたが、看護師養成学校に行きたいと病院側と相談し、この制度を活用して進学しました。2年間勉強して、看護師として戻ることができました。

子育てと仕事を両立させるポイントは何ですか。

結城さん 交代制は体力的にはきついですが、時間を有効に活用することができ、子どもの学校行事やスポーツの大会への応援などにも参加できます。子どもの成長を見ることができたのはとても良かったです。

田中さん 私は小さい子どもがいるのですが、職場で白衣を着れば気持ちを切り替

えて仕事に集中します。また、白衣を脱げば母親としての気持ちに切り替えます。メリハリをつけることが重要です。

渡邊さん 子どもが熱を出せば急に休まなければなりません。有給休暇を取りやすい雰囲気のため子育て中でも、安心して働いています。

今後の取り組みについて教えてください。

川口さん 勤務形態は、日勤や半日のみでも対応します。育児などが一段落したら、交代勤務に変わってもらえればうれしいです。

看護職員が多い職場なので、看護職員が働きやすい環境を整備することで、病院全体の働き方の風土が変わっていくと考えています。職員のライフステージやキャリアを考慮しつつ、長く働き続けられる環境づくりを一層進めていきたいです。

医療法人昨雲会飯塚病院の取材内容は市ホームページにも掲載しています。

企画調整課 企画調整係
☎(24)5209